

印西地区環境整備事業組合
次期中間処理施設整備事業施設整備基本計画検討委員会
第4回会議 次第

日 時 平成27年8月23日（日）
午後1時から
場 所 印西地区環境整備事業組合
3階 大会議室

次第	資 料	頁
1 開 会		
2 会議録について（第3回会議）	概要版会議録	資料外別添①
3 地域振興策検討委員会 第3回会議の報告について	概要版会議録	資料外別添②
4 意見書について	施設整備に関する意見書	参考資料-1 参考資料-2
5 検討委員会スケジュール等について	検討委員会のスケジュール確認資料	P 1
6 リサイクルセンターについて	リサイクルセンターについて	P 2 参考資料-3
7 その他	建設候補地周辺住民意見交換会について 施設整備基本計画検討と連携する 地域振興策（案）	参考資料-4 参考資料-5
8 閉 会		

検討委員会のスケジュール 確認資料

開催回数 開催日	検討項目(案)	備 考
第2回 6月21日	(1) 検討委員会のスケジュール	
	(2) 次期中間処理施設整備事業のスケジュール	
	(3) 次期中間処理施設整備の基本方針について	・修正のうえ第3回会議で再審議
	(4) 次期中間処理施設の処理システム・処理方式について ① 焼却方式 ② ガス化熔融方式 ③ 灰熔融方式 ④ RDF, メタンガス化、炭化	
第3回 7月12日	(1) 計画施設規模の検証 ① 各市町の将来人口推計について ② ごみ処理量の見通し ③ ごみ処理基本計画との比較 ④ 計画施設規模設定について	・ごみ処理基本計画(H26年3月改訂)の計画目標年度(H40)焼却対象ごみ量により、施設規模を検証。施設規模は以後のごみ処理基本計画で決定 ・施設規模156t/日をプラントメーカーアンケートに採用
	(2) 計画ごみ質 ① 現状のごみ質 ② 容器包装プラスチック類の再利用方法別のごみ質 ③ 計画ごみ質の設定	・現状補正後のごみ質、容器包装プラスチック類を含めたごみ質を確認 ・容器包装プラスチック類を含めた焼却ごみ質をプラントメーカーアンケートに採用
	(3) 処理方式の選定 ① 焼却方式とガス化熔融方式比較 ② 処理方式の選定(その1)	・処理方式を踏まえ先進地視察先選定 ・処理方式等の比較、選定については、プラントメーカーアンケート結果を踏まえ、第5回委員会で提示予定
	(4) 排ガスに係る公害防止基準 ① 排ガス方式 ② 公害防止基準	・プラントメーカーアンケートに際し、前計画による自主規制値(案)を暫定採用 ・自主規制値はプラントメーカーアンケート結果を踏まえ、第5回委員会で提示予定
	(5) プラントメーカーへのアンケート調査項目とアンケート実施工程	
第4回 8月23日	(1) 処理方式の選定 ① 処理方式の選定(その2)	・プラントメーカーアンケート結果を踏まえ、第5回委員会で提示予定
	(2) 焼却システムフロー ① 発電規模及び排熱利用システム ② システム別発電量と熱供給量 ③ 地域振興策への余熱利用施設への可能熱供給量(その1)	・プラントメーカーアンケート結果を踏まえ、第5回委員会で提示予定
	(3) 防災拠点対応焼却システム ① ガスタービン発電機と併用システム	・プラントメーカーアンケート結果を踏まえ、第5回委員会で提示予定
	(4) リサイクルセンターの構造、処理方式、全体フロー ① 破砕機の種類 ② 選別機の種類 ③ 計画施設規模	

開催回数 開催日	検討項目(案)	備 考
第5回 9月13日	(1) 施設配置計画 ① 造成計画 ② 施設配置 ③ 敷地内における車両及び歩行者の導線 ④ 施設見学者ルート	・プラントメーカーアンケート結果を踏まえ審議予定 ・アクセス道路ルート等検討
	(2) 焼却システムフロー(その2) ① 地域振興策への余熱利用施設への可能熱供給量(その2)	・地域振興策への余熱利用施設への可能熱供給量(その1)を踏まえ審議予定
第6回 10月18日	(1) 防災拠点化システム ① 災害対策、防災拠点化及び耐震構造 ② 情報公開及び広報活動	・災害にも対応する施設の耐震性、作業時の情報、広報等の内容の検討
第7回 11月15日	(1) 事業方式 ① 事業範囲 ② 事業スキーム等	・発注方法の検討、事業方式の総合評価
	(2) 整備スケジュール	・稼働開始までに必要な法手続き等の確認
第8回 12月13日	(1) 答申素案	・検討事項取りまとめ・審議
第9回 1月17日	(1) 答申素案の決定	・第8回会議における修正・再審議
2月	パブリックコメントの募集	・答申素案により実施
3月6日	検討結果説明会	・答申素案を関係市町の住民に説明
第10回 3月13日	答申書の決定	・パブリックコメントを踏まえ審議・決定

凡例: : 審議済項目
 : 第4回会議審議項目

リサイクルセンターについて

(1) リサイクルセンターの施設規模の見込み

リサイクルセンターは、以下に示す印西地区ごみ処理基本計画（H26年3月）における計画目標年度の処理合計量 3,389.07t/年を基に「次期中間処理施設整備事業（最終答申書）資料編（15）施設規模の見込みについて」に示す方法により、施設規模は 15t/日と見込まれています。



施設規模 (t/日) = 日平均処理量 ÷ 稼働率 ÷ 調整稼働率

$$9.29 \div 0.673 \div 0.96 = 14.4 \approx 15 \text{ t/日}$$

- 日平均処理量：年間処理量（3,389.07 t/年）の日換算値 9.29t/日
※H40年度の減量目標達成時における破碎・選別対象年間ごみ量
- 稼働率：246日 ÷ 365日 ≈ 0.673
※年間246日：月曜日～金曜日（土日、祝日、年末年始を除く）
- 調整稼働率：0.96
※故障修理などの一時停止による処理能力低下を係数化（約15日間）

なお、処理量の将来予測は計画目標年度まで増加傾向であるが、過去5年の実績平均処理量は 3,199.6t で、計画目標年度の処理量を下回っている状況です。

リサイクルセンター（現施設）搬入実績（H22～H26）

項目	単位	H22	H23	H24	H25	H26	平均
燃やさないごみ	t/年	1,533.0	1,469.5	1,354.4	1,361.4	1,284.5	1,400.6
粗大ごみ	t/年	1,794.5	1,987.5	1,759.5	1,795.3	1,658.3	1,799.0
合計	t/年	3,327.5	3,457.0	3,113.8	3,156.7	2,942.8	3,199.6

(2) リサイクルセンターの構成

リサイクルセンターには処理設備に加え、リサイクルプラザを併設し、不用品の補修機能のほか、住民も直接利用する再生品の展示スペース、環境学習や啓発活動の場としての機能を備えます。